

輸入換気が好評価

JVIAアンケート調査で

日本輸入換気システム連盟(略称JVIA・高野鋼二理事長、ジェイベック(株)取締役営業本部長)ではこのほど、新築住宅の換気設備についての満足感をアンケート方式で調査、その結果を発表した。それによると、どの方式の換気も一定の満足感が得られるなか、同連盟の会員が販売した換気システムは、全体回答に比べ総合的な満足感が高く、空気環境と換気にこだわるユーザーに支持されていることに同連盟では自信を深めている。

こだわるユーザーが多い

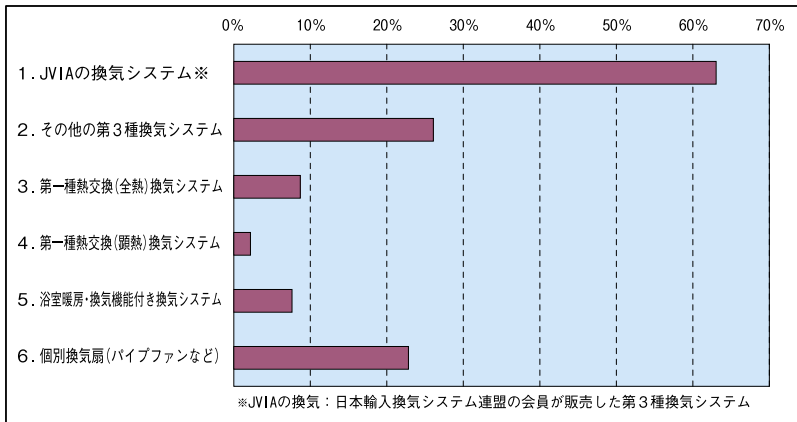
騒音評価も良好

この調査は同連盟の会員が販売する第3種換気システムのユーザーを中心に、その他の換気方式を使うユーザーにもアンケートを依頼した。回答項目は主に5段階評価と

し、プラス評価2項目、マイナス評価2項目、その中間回答を1項目とした。

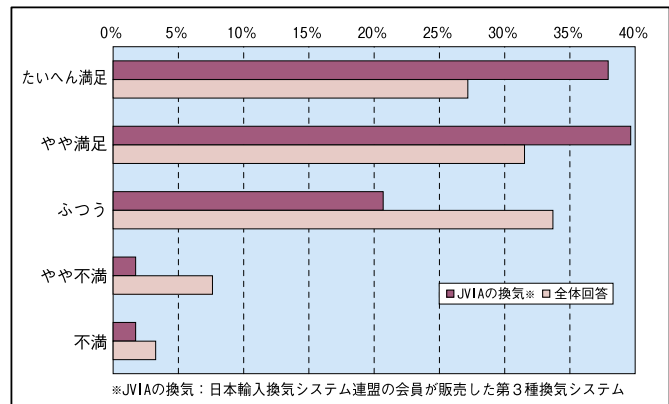
総合的な満足感についての全体回答では、「たいへん満足」と「やや満足」といへん満足」と「やや満足」を合計し半数を超える58%がプラス評価、「ふつう」と答えた33%も加えれば9割の人が換気に対して一定の評価を下していることがわかる。

アンケート調査先住宅の換気の種類(複数回答)



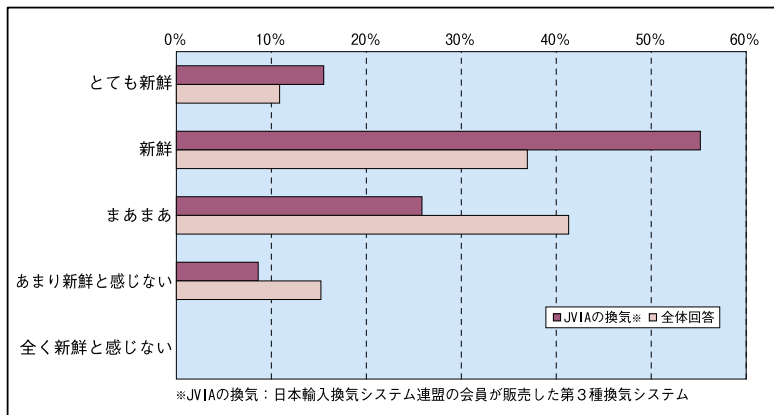
※JVIAの換気：日本輸入換気システム連盟の会員が販売した第3種換気システム

総合的な満足感



※JVIAの換気：日本輸入換気システム連盟の会員が販売した第3種換気システム

室内の空気が新鮮と感じるか



※JVIAの換気：日本輸入換気システム連盟の会員が販売した第3種換気システム

このなかで同連盟の会員が販売する第3種換気システムを取り付けたユーザーだけを見ると、「たいへん満足」と「やや満足」を合計したプラス評価が77%で全体回答より2割多く、積極的に

好評価を下していることがわかる。この傾向は「空気の新しさ」「室内のにおい」についての回答でも同じで、まあまあなどの中間回答よりも、「空気が新鮮」とも新鮮」にお

いが全くまたはあまり気にならない」と答える積極的な換気性能に対する評価の傾向が見られる。輸入品の換気システムは、換気能力が高いことなどから騒音が比較的大きいともいわれるが、運転に伴う音についても全

体回答とほぼ同じやよい結果となっている。

これに対して第3種換気の給気レジスターからの冷気については「ときどき感じる」とする回答がやや多くなっている。メンテナンス面では、定期的な清掃を行っているユーザーの割合が全体回答よりも多く、換気システムに対する意識の高さがうかがわれる。また「掃除しやすい」との回答も多く、清掃性の高さも評価を高めているようだ。

この結果について同連盟高野理事長は「換気システムの基本性能である換気量の安定的確保という点にこだわって啓蒙・普及を進めてきた成果が、そのまま調査結果に現れたと思う。この調査結果をふまえて、空気環境にこだわるなら輸入換気というPRをすすめてい

たい。給気の冷たさについては、給気レジスターの設置位置の工夫など、設計によってかなり問題を解消できることから、これまで以上に配慮して

いきたい。ただ、熱交換換気に対する「給気が暖かい」という期待感が反映されている面もあると思う」としている。

春から電話一本化

お客様コールセンター始動

住宅金融公庫は平成18年度から、これまで分かれていた一般向け相談電話窓口とフラット35専用情報ダイヤル「フラット35ほつとライン」を一本化して「住宅金融公庫お客様コールセンター」に改称、電話番号も全国統一の番号「0570-0860-35」に改める。

この番号にかけると、電話をかけた地域を自動判別して東京と大阪に設けられたコールセンターのどちらかにつながるしくみ。なお、全国どこからかけても電話料金は市

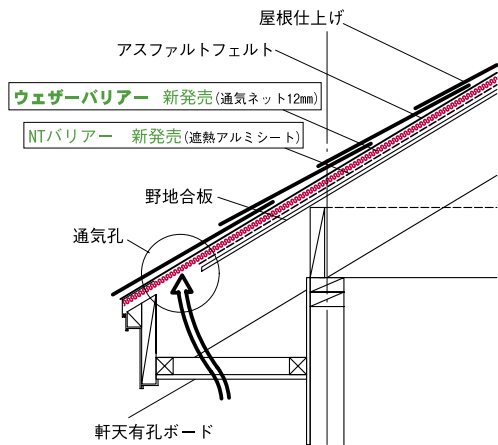
内通話料金と同じ。また、IP電話やPHSなど0570で始まる番号にかけられない場合は直接コールセンター(東京03・5800・8002、大阪06・6281・0021)にかけらる。



敷くだけで屋根通気施工が終わる!

ウェザーバリア

- 屋根通気層の確保でスガモリ防止、夏場の熱気対策に役立ちます
- 12mm厚の立体メッシュ形状なので、敷くだけで屋根通気層ができあがります。ルーフィング材と密着するので仮止めのみでもズレ落ちる心配はありません
- わずか1日で屋根通気層施工が完了します
- 多雪地域でも安心、1㎡あたり2.4tの荷重に耐える特殊樹脂を使用しています
- NTバリアーを併用することでコールドルーフを実現
- 軒天からの通気は、カッターで野地合板にスリットをあければOK



製品規格
幅990mm×長さ30.8m×厚さ12.5mm 30,000円/巻(税別)

発売元 **キャスケードコンポーネンツインク**
http://www.yunyu-kenzai.com/

日本事務所 TEL/045-475-0711 FAX/045-475-0731
住所/神奈川県横浜市港北区新横浜3-20-5

US Head Office TEL/1-253-395-8710 (日本語可) FAX/1-253-395-8711
住所/7074 South 220th Street, Kent, WA 98032-1910